

師茂樹氏（『最澄と徳一—仏教史上最大の対決』岩波書店、2021年）、亀山隆彦氏（『平安密教思想の展開—安然の真如論から覚鑊の身体論へ』臨川書店、2023年）、三後明日香氏（カールトン大学）を迎えるブックトークでは新たな視点から「読む、書く、学ぶ」ことをキーワードに、平安期を軸に日本列島における仏教思想史を読み直す。過去に生きた仏教者の足跡を描く中で、自らの立場性を含めて平安期の仏教者に取り組んだ問題と、そのアプローチから何が学べるかを問う試みである。日本とアメリカという研究拠点の違いから浮かび上がる、「平安仏教」をめぐる問いの立て方の多様性なども含めて、参加者と共に議論する場としたい。

日時 **3月1日（金）**
10時～12時30分

会場 **南山大学 Q103 教室**
および Zoom

著者 **師茂樹氏**（花園大学教授）
亀山隆彦氏（京都大学人と社会の研究院研究員）
評者 **三後明日香氏**（Carleton College 教授）
司会 **守屋友江**（南山宗教文化研究所第一種研究所員）

プログラム

10時～10時5分 開会挨拶、趣旨説明
10時5分～10時45分 三後氏による講評
10時45分～11時20分 師氏、亀山氏によるリプライ
11時20分～11時30分 休憩、質問受け付け
11時30分～12時30分 フロアとの質疑応答
※終了後、懇親会（有料）を予定

参加申込み **参加費無料** **2月29日**までにQRコード
または下記へお申し込み下さい。
<https://forms.gle/SLN7J1zQHxzrhUS7>

問合せ **守屋友江**（南山宗教文化研究所）
tmoriya*nanzan-u.ac.jp（*を@に変換して下さい）

主催 **南山宗教文化研究所** 協賛 **佛教史学会**

図・奈良国立博物館所蔵 十一面観音立像（12世紀、重要文化財）

「平安仏教」を
読む、書く、学ぶ

ブックトーク
師茂樹 『最澄と徳一』
亀山隆彦 『平安密教思想の展開』

